



【黒石ねぶた】



【松の湯交流館】



【黒石温泉郷】



【中野もみじ山】

アジアンソーメン  
(十文字カフェ)ビーガンつゆ焼きそば  
(レストラン御幸)和ビーガン料理  
(旅の宿斎川)和定食  
(ランプの宿青荷温泉)

市長もおすすめ

## 街のおすすめスポットと特産品を観光課担当者に聞いてみました!



黒石市は八甲田から流れ込む美味しい水に育まれた「お米」と「りんご」の名産地です。夏には黒石ねぶた祭り、黒石よされ、秋には中野もみじ山の紅葉でぎわいます。

古くからの城下町として栄え、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「中町伝統的建造物群保存地区(中町こみせ通り)」は、藩政時代の面影を残す歴史ある町並みです。屋根を突き抜けた松の姿が印象的な建物は、元銭湯であり、長く銭湯として親しまれた「松の湯」が、土の人(地元住民)と風の人(観光客)のふれあう新たな交流施設「松の湯交流館」として生まれ変わりました。黒石の観光情報の収集やまち歩きの拠点となっています。また、湯治場として栄えてきた「黒石温泉郷」は、いで湯の里としても親しまれ、あずましい(心地よい)温

泉宿がたくさんあります。黒石市内では、肉や魚介類、乳製品、卵などを含め動物由来の原材料を一切使わない「ビーガン料理」の取組が始まりました。現在は、市内の4カ所の飲食店や宿泊施設が「ビーガン料理」を提供しています。今後は、農薬を使わない黒石産の野菜等も積極的に取り入れるなど、更にヘルシーナメニューを増やし、インバウンド観光客や健康志向に関心が強い若い女性などもターゲットにして、取り組んでいきたいと思っています。ビーガンの方でなくとも、野菜中心の食生活をしている方もぜひご利用ください。

黒石市は近隣の方でも遠くに来たようなノスタルジックな気分を味わうことができるまちです。ぜひ、ゆったりと気の向くままに黒石のまちを楽しんでみてはいかがでしょうか。